

ボリビアとペルーでペストが発生

2010年8月25、26日 ProMED 情報

(Agence France-Presse(AFP)、全米保健機関 Pan American Health Organization)



8月24日、ボリビア保健省は、ラパス La Paz 北部で14歳の少年が腺ペストで死亡したことから、健康に関する警報を発令しました。

地域の保健大臣は、緊急対策でげっ歯類(ネズミ)とノミの増加が報告された自治体で健康管理と予防計画を強化しました。

これまでに10代の死亡患者1名を含む腺ペスト患者8名が、アポロ Apolo 町から報告されました。このアポロ Apolo 町は、最近2カ月で3名のペスト死亡患者が発生したペルーと隣接した場所にあります。

(以上 AFP)

疫学検出情報 8月8~14日(32週)によると、ペルーでペスト患者27名が報告され11名が確定診断されました。

27名の確定診断患者のうち、21名は腺ペスト患者(1名の死亡患者を含む)で、4名は肺ペスト患者、2名はペスト敗血症による死亡患者でした。

25名は Ascope 郡で、2名はトルヒーヨ Trujillo 市で発生しました。最後の肺ペスト患者は、8月11日に発症しました。それ以降新たな患者は発生していません。

(以上 PAHO)